

昭和大学歯科病院

顎関節症治療科

スポーツ歯科外来



昭和大学
SHOWA University

主な対象疾患

顎関節症治療科

顎関節症

口腔顔面痛

睡眠時ブラキシズム

睡眠時無呼吸

スポーツ歯科外来

スポーツマウスガード製
作

その他

補綴治療全般

症 例	症例数
顎関節症	645症例
歯ぎしり	16症例
咬合違和感症	10症例
顎関節脱臼	7症例
神経障害性疼痛	5症例
舌痛症	3症例
咀嚼筋腱・腱膜過形成症	2症例
特発性下顎頭吸収 (PCR)	2症例
下顎頭骨折	2症例

顎関節症治療科スタッフ

歯科医師名		役職	出身校	卒業年	資格
常勤	菅沼岳史	教授 (診療科長)	昭和大学	昭和60年	日本補綴歯科学会 専門医・指導医 日本顎関節学会 専門医・指導医
	佐藤多美代	助教 (診療科長補佐)	北海道大学	平成22年	口腔顔面痛学会 認定医 マウスガードテクニカルインストラクター
	森島 葵	助教 (歯科)	昭和大学	令和1年	
非常勤	船登雅彦	教授 (スポーツ運動科学 研究所併任)	日本大学 松戸	昭和56年	日本顎関節学会 専門医・指導医 日本補綴歯科学会 専門医・指導医 日本スポーツ歯科医学会認定医 マウスガードテクニカルインストラクター
	片岡竜太	教授 (歯学教育学併任)	昭和大学	昭和60年	日本顎関節学会 専門医・指導医 日本口腔外科学会 専門医
	渡邊友希	兼任講師	昭和大学	平成8年	日本顎関節学会 専門医 口腔顔面痛学会 専門医 ドライマウス研究会認定医
	内藤貴美子	兼任講師	昭和大学	平成10年	
	安藤 彰啓	客員講師	昭和大学	平成22年	米国口腔顔面痛学会 専門医

顎関節症

- 顎関節症は歯科三大疾患の1つ
- 顎関節や咀嚼筋の疼痛, 関節(雑)音, 開口障害ないし顎運動異常を主要症候とする障害
- 病態分類
 - ・ 咀嚼筋痛障害 (咀嚼筋の痛み)
 - ・ 顎関節痛障害 (顎関節の痛み)
 - ・ 関節円板障害
 - 復位性関節円板前方転位 (カックンというクリック音)
 - 非復位性関節円板前方転位 (クローズドロックによる開口障害)
 - ・ 変形性顎関節症 (関節の変形によるゴリゴリというクレピタス音)

顎関節症の治療

症 例	症例数
顎関節症	645症例



治療法	症例数
習癖是正認知行動療法	632症例
理学療法	540症例
薬物療法	98症例
スプリント療法	44症例
トリガーポイント注射	3症例
パンピングマニピュレーション	2症例

口腔顔面痛

■非歯原性歯痛，舌痛症，三叉神経痛，外傷性神経障害など

• 非歯原性歯痛

痛みを訴える歯や歯周組織に画像や客観的診査所見により異常がない。 代表的なのは，咬筋，側頭筋などの咀嚼筋の筋・筋膜痛の関連痛としての歯痛。

当該歯への麻酔により歯痛が改善しない。

• 舌痛症

舌に痛みを訴える心因性の慢性疼痛で口腔心身症のひとつ。

舌には炎症，潰瘍などの器質的変化がない。

スポーツ歯科外来

マウスガード装着義務化競技

1. アメリカンフットボール
2. ラグビー
3. アイスホッケー
4. ボクシング
5. キックボクシング
6. 空手道
7. ラクロス (女子)
8. インラインホッケー



研修の特色

- 顎関節症治療科研修では、顎関節症をはじめとする顎口腔機能系の障害に対して最新の知見に基づいて行われる診断、治療を習得することができます。
- また、薬物療法、理学療法だけでなくスプリントの作製など開業歯科医院に勤務した時に身につけておきたいスキルとしての初期治療を学ぶことができ、
パンピングマニピュレーションなどの外科的治療も経験できます。
- さらに、補綴治療全般についても学ぶことができます。
- 顎口腔機能系の障害に対する最先端の診療に参加することは、ストレスの多い社会となった現在、地域社会の要請に応えられる歯科医師として活躍するための大きな基礎を固めることができます。